

がんをもつ緩和ケアの対象者へのリハビリテーション研修会

★目的：国民の2人に1人が、がんに罹患するといわれる時代への国策の一環として、2010年にがん患者リハビリテーション料が新設された。周術期を中心とした支援の充実を図られるようになってきた一方で、緩和ケア病棟においては包括医療により、リハビリテーション料の出来高算定が困難な状況もある。本研修会は、がん医療に関わる療法士の臨床実践の底上げを図り、特に緩和ケアの対象者への支援の充実を図る目的で開催する。

★開催日：2018年2月10日（土）～11日（日）
（10日 9：30～18：00、11日 9：00～15：40）

★会場：TKP ガーデンシティ大阪梅田 バンケット 15A
<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gc-osaka-umeda/access/>

★参加費：10,000円（事前振込）

★定員：定員250名 先着順で定員になり次第締め切り

★申込み方法：下記URL または QRコードより専用フォームでお申込みください。

<https://goo.gl/forms/hZQJFj3renEHdwVC2>



★内容に関する問合せ先：高島 千敬（たかしま かずのり）
一般社団法人日本作業療法士協会 理事
E-mail：takashima@ams.odn.ne.jp（@は小文字にして送信ください）
※生涯教育単位の詳細は各団体へお問い合わせください。

★アクセス



★プログラム（講師）

一日目(2月10日)

	プログラム	講師候補
9:30~11:00 (90分)	がんと緩和ケア概論	木澤 義之先生 (神戸大学大学院医学研究科)
休憩 (10分)		
11:10~12:10 (60分)	がんをもつ緩和ケア対象者に対する リハビリテーションの概論	酒井 良忠先生 (神戸大学)
昼休み (60分)		
13:10~14:10 (60分)	身体機能が低下した対象者へのリハ ビリテーション	峯岸 忍先生 (筑波メディカルセンター病院・ 日本理学療法士協会)
休憩 (10分)		
14:20~15:20 (60分)	活動と参加への制限が出現した対象 者へのリハビリテーション	島崎 寛将先生 (大阪府済生会富田林病院・日本作 業療法士協会)
休憩 (10分)		
15:30~16:30 (60分)	摂食嚥下障害、コミュニケーション障 害を持つ対象者へのアプローチ	飯野 由恵先生 (国立がん研究センター東病院・ 日本言語聴覚士協会)
休憩 (10分)		
16:40~17:40 (60分)	進行期・終末期にきたす浮腫をもつ対 象者に対するアプローチ	小川 佳宏先生 (リムズ徳島クリニック)
17:40~18:00 振り返り、事務連絡 (20分)		

二日目(2月11日)

9:00~10:30 (90分)	がんをもつ緩和ケア対象者の退院支 援 (看護師の立場から)	井関 千裕先生 (兵庫県立西宮病院)
休憩 (10分)		
10:40~12:10 (90分)	気持ちのつらさとコミュニケーショ ン技能	岡村 仁先生 (広島大学)
昼休み (60分)		
13:10~15:40 (150分)	事例検討 (2事例) ※適時休憩	峯岸 忍先生 (日本理学療法士協会) 島崎 寛将先生 (日本作業療法士協会) 飯野 由恵先生 (日本言語聴覚士協会)
15:40 閉会の挨拶		